

次期SIP タスクフォース

期末評価、RFI選定、個別テーマ選定に関する参考資料

令和4年6月9日

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局



(1) タスクフォースフォース (TF) 活動でご考慮いただきたい点 その1

➤ タスクフォースのコンセプト・スコープとして、以下を総合して活動いただきたい

- ① 内閣府HP掲載資料「次期戦略的イノベーションプログラム (SIP) の各課題候補に係る情報提供依頼 (RFI) 結果の整理について」各課題の定義部分 (※)

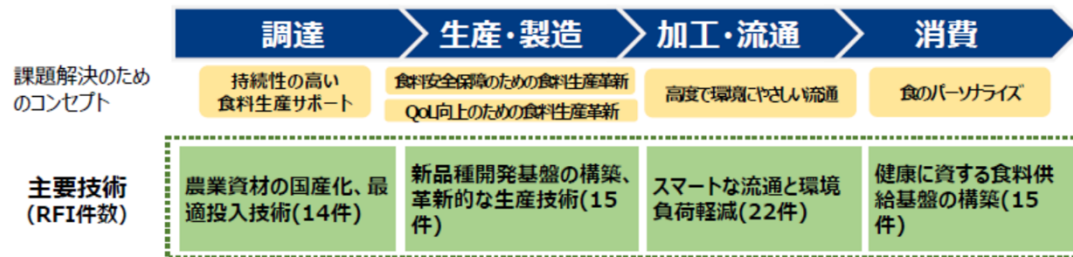
https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/pdf/220401sip_pd1.pdf

【01 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築】

食料安全保障やカーボンニュートラル、高齢化社会への対応に向けて、食料の調達、生産、加工・流通、消費の各段階を通じて、豊かさを確保しつつ、生産性向上と環境負荷低減を同時に実現するフードチェーンを構築する。

※ (例として)

<RFI結果を踏まえた課題の構成案>



- ② 内閣府HP掲載資料「各課題候補に係るPD 候補の選定に当たって特に重視する視点」

https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/pdf/220401sip_pd1-1.pdf

- ③ 各PD候補への通知資料「次期SIPのプログラムディレクター (PD) 候補の決定予定通知について」の条件記述

(1) タスクフォースフォース (TF) 活動でご考慮いただきたい点 その2

- 第2期SIP運用指針の評価項目・評価基準を参考に、次期SIPフィジビリティスタディ (FS) の成果に関する評価方法を検討中である。決定次第通知させていただく。まずは、第2期SIP運用指針の評価項目・評価基準に資する研究開発計画を検討開始いただきたい。

参考

戦略的イノベーション創造プログラム運用指針

令和4年3月31日改正

(中略)

9. 評価

(1) 評価対象

②SIPの各課題

iii) 評価項目・評価基準

「国の研究開発評価に関する大綱的指針(平成28年12月21日、内閣総理大臣決定)」を踏まえ、必要性、効率性、有効性等を評価する観点から、評価項目・評価基準は以下のとおりとする。評価は、達成・未達の判定のみに終わらず、その原因・要因等の分析や改善方策の提案等も行う。

- a) 意義の重要性、SIPの制度の目的との整合性
- b) 目標(特にアウトカム目標)の妥当性、目標達成に向けた工程表の達成度合い
- c) 適切なマネージメントがなされているか。特に府省連携の効果がどのように発揮されているか。
- d) 実用化・事業化への戦略性、達成度合い
- e) 最終評価の際には、見込まれる効果あるいは波及効果。終了後のフォローアップの方法等が適切かつ明確に設定されているか。
- f) 第2期の課題検討において課せられた「要件」(別紙)の達成状況
- g) 各課題の研究テーマごとにおけるTRL(Technology Readiness Levels)の達成状況

(別紙)

第2期の課題の要件

- ① Society5.0の実現を目指すもの。
- ② 生産性革命が必要な分野に重点を置いていること。
- ③ 単なる研究開発だけではなく社会変革をもたらすものであること。
- ④ 社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な分野
- ⑤ 事業化、実用化、社会実装に向けた出口戦略が明確(5年後の事業化等の内容が明確)
- ⑥ 知財戦略、国際標準化、規制改革等の制度面の出口戦略を有していること。
- ⑦ 府省連携が不可欠な分野横断的な取り組みであること。
- ⑧ 基礎研究から事業化・実用化までを見据えた一貫通貫の研究開発
- ⑨ 「協調領域」を設定し「競争領域」と峻別して推進(オープン・クローズ戦略を有していること。)
- ⑩ 産学官連携体制の構築、研究開発の成果を参加企業が実用化・事業化につなげる仕組みやマッチングファンドの要素をビルトイン

(2) RFIの選定

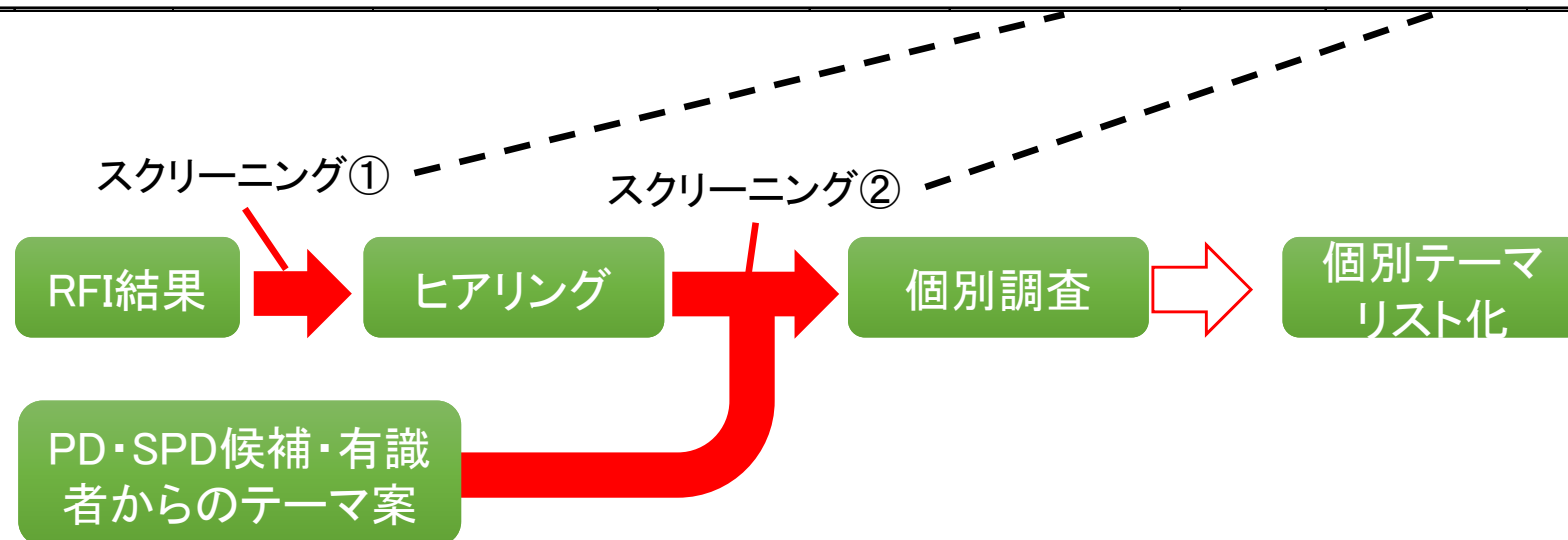
- 「各課題候補のRFIの内容について情報提供するので、必要に応じて情報提供者からの情報収集を行うなど、RFIの内容を吟味しFSを実施すること」をPD候補の選定に当たっての条件とさせていただいているところであるが、具体的には以下のようなフォーマット（案）を活用して各段階で評価・スクリーニングし、研究テーマとして取り上げるかどうかご検討いただきたい。

RFIスクリーニングフォーマット(案)

以下フォーマットを課題ごとにお送りします。右側の黄色部分に評価を記述ください

番号	所属等	提出機関種別 (1:大学、 2:国研(大学 共同利用機関含 む)、3:企業、 4:団体等)	主領域 ※回答Bを見てプル ダウンで選択	研究開発テーマ	分類(サブ課題 単位) ※更新してくだ さい	分類(サブサブ 課題単位) ※該当する場 合更新してくだ さい	スクリーニング①:コンセ プトに合致するか ○:合致、△:完全には 合致しないが参考として検 討する、×:合致しない	評価理由	スクリーニング②:中核 となりうるテーマか ○:中核となりうる (調査へ)、×:中 核としては採用しない	評価理由	備考(必要に 応じて記述)
----	-----	--	----------------------------	---------	---------------------------------	---	--	------	--	------	------------------

個社情報を含むため、非公開



(3) 個別テーマの選定

➤ 「次期SIPのフェージビリティスタディ（FS）の運営方針」

<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/220331/siryu11.pdf>に従い活動していただいた結果を踏まえて、各個別テーマをリスト化し、客観的な評価の元、優先順位を決定いただきたい。

個別テーマリストフォーマット(案) ※今後、制度設計の検討等により変更になる可能性があります。イメージとして参考としてください。

以下フォーマットに評価を記述し、優先順位を決定ください

No	優先順	個別テーマ名	対象となるサブ課題	概要	テーマ由来 (RFI/有識者、など)	競争力（国内外技術と比べて優位性があるか）	実装可能性（技術コンセプトの一定の検証ができており、課題が明確になっているか。難しい場合の代替案があるか。）	波及効果（サブ課題に対する影響・貢献の大きさ）	その他課題による自由設定課題	総合評価 (スクリーニング③)	2023年度予算
1	1	AAA	XX		RFI						
2	3	BBB	XX		RFI						
3	2	CCC	YY		有識者提案						
4	4	DDD	YY		RFI						

